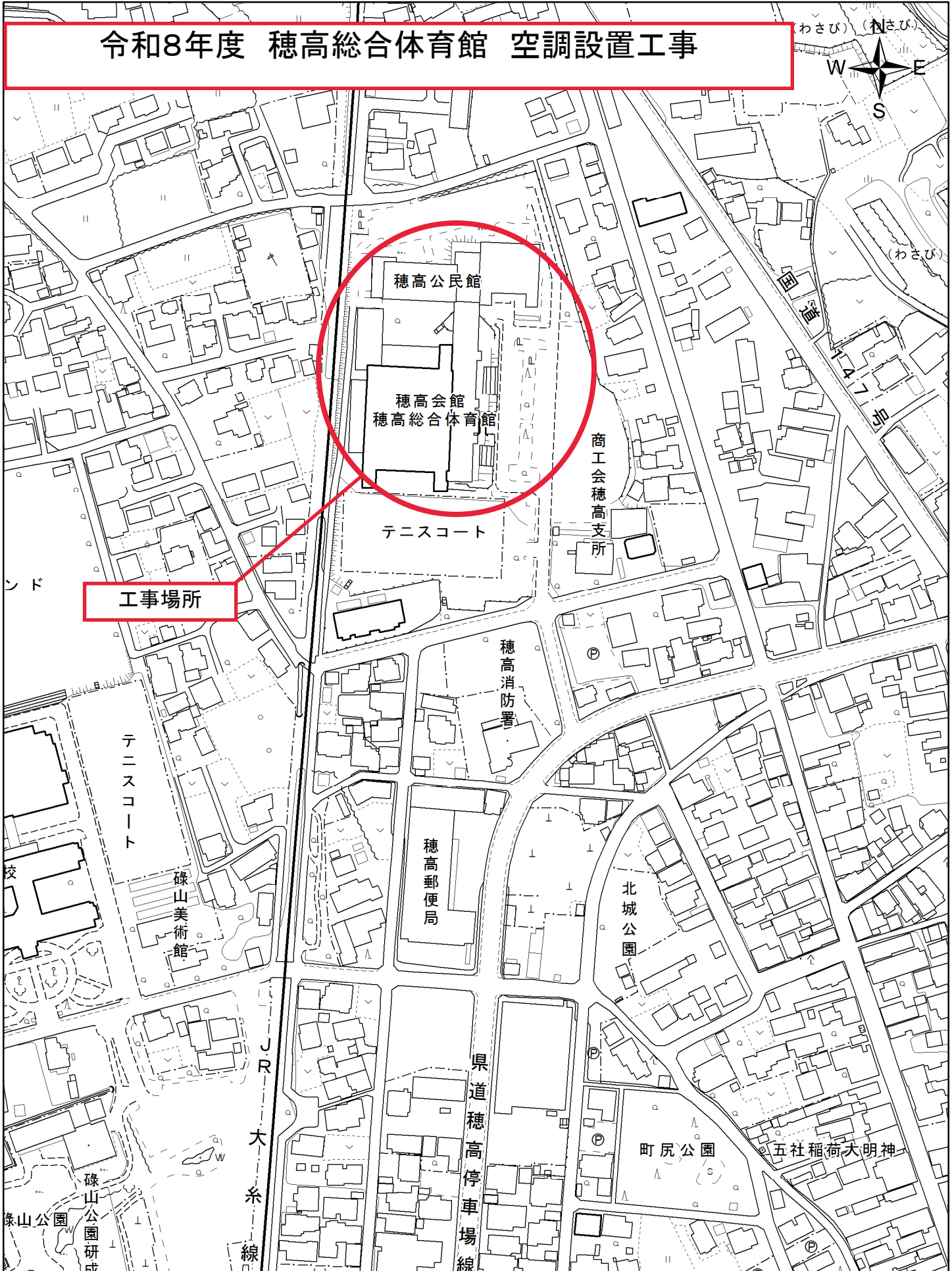
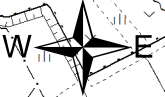




# 位置図

## 令和8年度 穂高総合体育館 空調設置工事

わさび (わさび)



1:2,500

0 45 90 180 m

# 現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称） 令和8年度 穂高総合体育館空調設置工事

2. 工事場所： 安曇野市 穂高総合体育館

3. 工事概要： ○穂高総合体育館の空調設置工事  
・穂高総合体育館柔剣道室及び卓球室（国スポウエイトリフティング競技会場の控室）の空調設置工事  
・受変電設備改修工事等電気工事一式

4. 工期： 契約日 から 令和9年3月25日

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 工事工程については、下記事項を考慮し、詳細は監督員と協議・調整を行うこと。

- ・穂高会館（公民館）及び穂高総合体育館（体育館部分）の一般利用停止期間は、令和8年11月1日から令和9年3月31日の5カ月間を予定しており、現場着手は原則として令和8年11月以降とする。
- ・事務室・受付ロビー・事務室前のトイレにおいては職員及び施設貸出予約等の一般利

用者が利用するため、施設の利用計画を配慮した計画とすること。

- ・テニスコート及びテニスコート利用者用トイレは通常通り利用できるようにすること。
- ・停電等で施設の利用に支障がでる場合は、事前に施設利用者及び監督員と協議を行うこと。
- ・7.に記載する別途発注工事と工程等調整し工事を行うこと。

(3)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

- (4) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (5) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。
- (6) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (7) 感染症対策は十分に講じること。
- (8) 各官公庁手続きについて、  
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(9)残土関係

~~本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

~~距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。~~

- (10) この工事は執務並行型の工事ではない。
- (11) 本工事は、「安曇野市週休2日工事实施要領」の通期の週休2日工事の対象である。
- (12) 機器発注後の工場製作のみを実施している期間(7カ月間)については休工扱いとし、週休2日及び工事期間の対象外とする。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考
安曇野市	令和8年度 穂高会館非常用電源・消防設備更新等工事	契約日 から 令和9年3月25日（予定）	消防設備（スプリンクラー用ポンプ、消火栓用ポンプ、圧力タンク等）更新及び上記に伴う非常用電源設備更新、蓄電池設備等更新工事	令和8年11月以降現場着手
安曇野市	令和8年度 穂高総合体育館床補強工事	契約日 から 令和9年3月23日（予定）	メインアリーナの一部の床補強支持脚設置 等	令和8年11月以降現場着手

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

8. 安全対策関係

①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。
  - ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
  - ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
  - ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

## 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によ

り、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」いう。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認する。~~

#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

①アスベスト材料の種別

②アスベスト形状、飛散可能性の有無

③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平

成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認証を受けた工場)で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者(コンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

##### ○添付書類

- ・ 工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・ 工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・ 工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

#### 24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあつては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあつては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

#### 25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

[変更請負額] = {[変更設計工事価格] × [当初請負比率]} ※1 + [消費税相当額]

当初請負比率 : [当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額] / [当初設計額の工事価格]

※1 有効桁上位 4 桁、5 桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和 8 年 4 月 1 日 適用版

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	令和8年度 穂高総合体育館 空調設置工事						
	内 訳 書						
	A 共通仮設費		式	1.0			
	B 直接工事費		式	1.0			
	純工事費計						
	現場管理費		式	1.0			
	工事原価						
	一般管理費等		式	1.0			
	工事価格						
	消費税相当額		式	1.0			10%
	設計工事費合計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	A 共通仮設費						
	i 率仮設						
	準 備 費	┌					
	仮 設 物 費						
	電力用水光熱費						
	工 事 施 設 費						
	環 境 安 全 費	└──	式	1.0			
	機 械 器 具 費						
	屋外整理清掃費						
	その他 試験調査費等	└					
	仮機材置場						
	ガードフェンス 6m*6m	90日	m	21.0			
	ガードフェンス運搬		100m 往復	1.0			
	キャスターゲート	W3000*H1800 片開き 3ヶ月	箇所	1.0			
	仮設鉄板敷	設置期間 3か月	m <sup>2</sup>	36.0			
	仮設敷鉄板運搬		m <sup>2</sup> 往復	36.0			
	小 計						
	計						





番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	受変電設備改修工事						
	受変電設備改修						
	計器用変流器	6.9kV 100/5A コイルモルト <sup>°</sup>	台	2.0			
	電流計	角型2.5級100/5A	個	1.0			
	高圧負荷開閉器	7.2kV200A 励磁突入電流抑制装置付	台	5.0			
	電力ヒューズ	7.2kV30A40kA	個	13.0			
	電力ヒューズ	7.2kV50A40kA	個	6.0			
	変圧器	1φ 150kVA6.6kV/210・105V	台	1.0			
	変圧器	3φ 300kVA6.6kV/210V	台	1.0			
	高圧リアクトル	3φ 6.6kV 9.57kvar	台	1.0			
	高圧進相コンデンサ	3φ 7.02kV 160kvar	台	1.0			
	スコット変圧器	30kVA 210V/105V	台	1.0			
	低圧計器用変流器	600/5A 銅バー6*75用	台	2.0			
	低圧計器用変流器	1000/5A 銅バー6*75用	台	2.0			
	電流計	角型2.5級600/5A	個	1.0			
	電流計	角型2.5級1000/5A	個	1.0			
	ブランクパネル	配電盤用600W×2300H	面	1.0			
	銅バー	t6×50 L2.3m+0.5m 赤白青	本	3.0			
	銅バー	t6×50 L=1.2m	本	3.0			
	銅バー	t6×75 L=1.2m 赤白青	本	6.0			
	可とう端子	50×330 300mm <sup>2</sup>	個	3.0			
	可とう端子	75×350 300mm <sup>2</sup>	個	6.0			
	銅バー支持金物	水平支持クランプ <sup>°</sup> C4H-2	個	6.0			
	銅バー支持金物	垂直支持型クランプ <sup>°</sup> CAS-2	個	6.0			
	フレームパイプ <sup>°</sup>	5.5m 塗装品	本	1.0			
	直角クランプ <sup>°</sup>	STK-KUR-9	個	4.0			
	Uボルト		個	16.0			
	高圧架橋ポリエチレン絶縁電線	PDC22sq	m	36.0			
	高圧銅棒接続端子	φ8—PDC22	個	11.0			

番号	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	消耗品雑材料		式	1.0			
	施工費	既設変圧器移設費(3φ200kVA6.6kV/210V)含む	式	1.0			
	撤去費		式	1.0			
	既設計器用変流器	6.9kV 75/5A コイルモルト		2台			
	既設電流計	角型2.5級75/5A		1個			
	既設高圧負荷開閉器	7.2kV200A		4台			
	既設電力ヒューズ	7.2kV30A40kA		10個			
	既設高圧リアクトル	3φ6.6kV 6.38kvar		1台			
	既設高圧進相コンデンサ	3φ7.02kV 106kvar		1台			
	既設スコット変圧器	30kVA 210V/105V		1台			
	既設低圧計器用変流器	200/5A 銅バー6*75用		2台			
	既設低圧計器用変流器	250/5A 銅バー6*75用		2台			
	既設電流計	角型2.5級200/5A		1個			
	既設電流計	角型2.5級250/5A		1個			
	既設高圧配電盤	配電盤用600W×2300H		1面			
	既設銅バー	t6×75 L=1.2m		3本			
	既設可とう端子	75×350 300mm <sup>2</sup>		3個			
	既設高圧架橋ポリエチレン絶縁電線	PDC22sq		21m			
	揚重費	25tラフテレンクレーン	日	1.0			
	重量物搬入費	Tr,SR,SC等 2,289kg	式	1.0			
	重量物搬出費	Tr,SR,SC等 562kg	式	1.0			
	撤去品積込費	Tr,SR,SC等 612kg	式	1.0			
	撤去品運搬費	4tユニット車	台	1.0			
	撤去品処分費	混合廃棄物	m <sup>3</sup>	2.0			
	油抜き取り費	Tr,SR,SC 101.2L	台	3.0			
	PCB検査費		台	3.0			
	PCB混入機器運搬処分費		式	1.0			
	法定福利費		式	1.0			









番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1	直接仮設工事						
	内部足場工事	600枠 3.6m*3.6m=13㎡ /カ所 4カ所	㎡	52.0			
	部分養生 床養生	3.6m*3.6m=13㎡ 6カ所	㎡	78.0			
	清掃、片付け		㎡	78.0			
	外部足場工事	600枠 3.6m*3.6m=13㎡ /カ所 4カ所	㎡	52.0			
	合 計						
2	冷暖房機器設置工事						
2-1	冷暖房機器						
	1階卓球室ACP-1						
	床置形パッケージエアコンSSRV160D		台	2.0			
	木台 KKWJ9L160		台	2.0			
	基礎ブラケット架台K-KTZ15G		台	2.0			
	室外機防振架台K-KSVF15GY		台	2.0			
	1階柔剣道室ACP-2						
	壁掛形パッケージエアコンツインSSRA224DD		台	2.0			
	基礎ブラケット架台K-KTZ15G		台	2.0			
	室外機防振架台K-KSVF15GY		台	2.0			
	2階事務室RC-1						
	インテリジェントタッチコントローラー DCL401B1		個	1.0			
	小計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2-2	空調機機器搬入据付工事						
	床置形室内機搬入据付	14.0kw	台	2.0			
	壁掛形室内機搬入据付	10.0kw	台	4.0			
	室内機据付用木台設置床置形		台	2.0			
	室外機搬入据付	14.0kw	台	2.0			
	室外機搬入据付	20.0kw	台	2.0			
	室外機据付用架台設置基礎ブラケット架台		台	4.0			
	防震フレーム設置		台	4.0			
	リモコン設置		台	2.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
2-3	配管設備工事						
	冷媒配管工事						
	冷媒用被覆銅管 15.88φ X9.52φ 10mm保温		M	22.0			
	冷媒用被覆銅管 9.52φ 10mm保温		M	10.0			
	冷媒用被覆銅直管 25.4φ 10mm保温		M	10.0			
	小計						
2-4	ドレン配管工事						
	結露防止層付塩化ビニル管ACD20		M	15.0			
	結露防止層付塩化ビニル管ACD25		M	14.0			
	小計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2-5	配線工事						
	室内外連絡配線WF2.0-3C		M	36.0			
	リモコン線VCTF0.75-2C		M	14.0			
	モール工事		M	1.0			
	集中リモコン線 VCTG1.25-2C		M	88.0			
	電源線	電気設備工事					
	配線工費		式	1.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
2-6	集中管理コントローラー設定作業						
	集中管理コントローラー設置		個	1.0			
	集中管理アドレス設定		台	4.0			
	集中管理コントローラー設定試運転含む		式	1.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
2-7	付帯工事						
	圧力試験		系統	4.0			
	真空乾燥費		系統	4.0			
	試運転調整費(通水試験含む)		系統	6.0			
	冷媒配管化粧カバースリムダクト100 材エ		M	25.0			
	冷媒配管化粧カバースリムダクト140 材エ		M	8.0			
	養生清掃費		式	1.0			
	壁面コア抜き		箇所	6.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
	合 計						

番号	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
3	アスベスト除去工事						
3-1	(仮設工事)						
	安全施設	表示看板設置	式	1.0			
	資機材搬出入		式	1.0			
	床・壁養生	飛散防止	6+2(電気) 箇所	8.0			
	清掃・片付け		6+2(電気) 箇所	8.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
3-2	(機材等設備費)						
	真空掃除機		日	1.0			
	噴霧器	湿潤養生用	日	1.0			
	集塵機付きハンマードリル		日	1.0			
	機材組立・養生・清掃		式	1.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						
3-3	(飛散防止剤)						
	湿潤剤・硬化剤		kg	1.0			
	小計						
3-4	(除去作業費)						
	湿潤剤吹付		箇所	8.0			
	除去作業 塗材外壁		箇所	8.0			
	集積・小運搬		箇所	8.0			
	固化剤吹付作業		箇所	8.0			
	2重袋詰め・固化剤散布		箇所	8.0			
	清掃作業		箇所	8.0			
	法定福利費		式	1.0			
	小計						



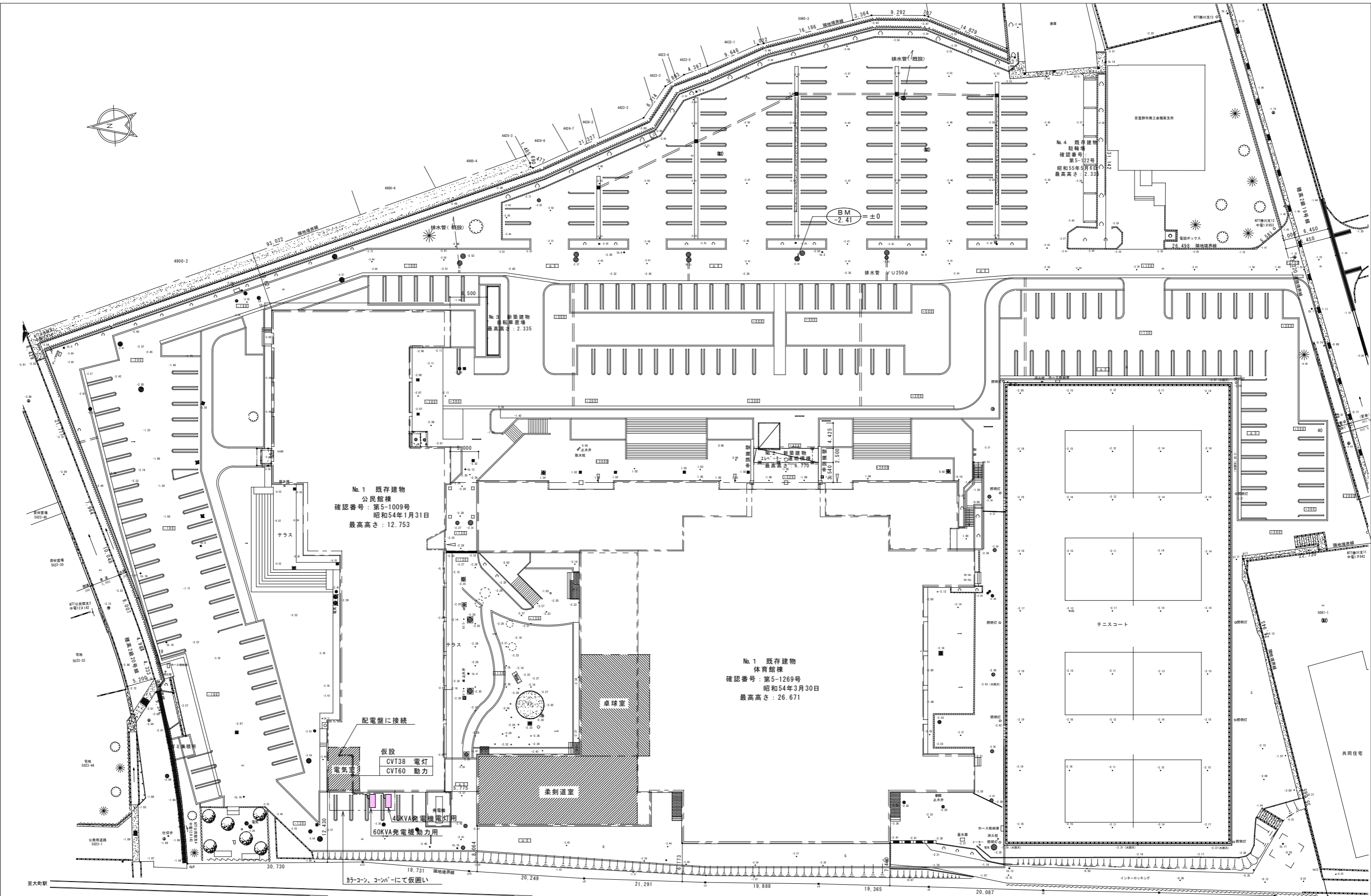
令和8年度

穂高総合体育館空調設置工事

(電気設備)







No. 1 既存建物  
公民館棟  
確認番号：第5-1009号  
昭和54年1月31日  
最高高さ：12.753

No. 1 既存建物  
体育館棟  
確認番号：第5-1269号  
昭和54年3月30日  
最高高さ：26.671

No. 4 既存建物  
確認番号：第5-122号  
昭和55年5月15日  
最高高さ：2.335

配電盤に接続  
仮設  
CVT38 電灯  
CVT60 動力  
電気室  
60KVA発電機動力用

柔剣道室

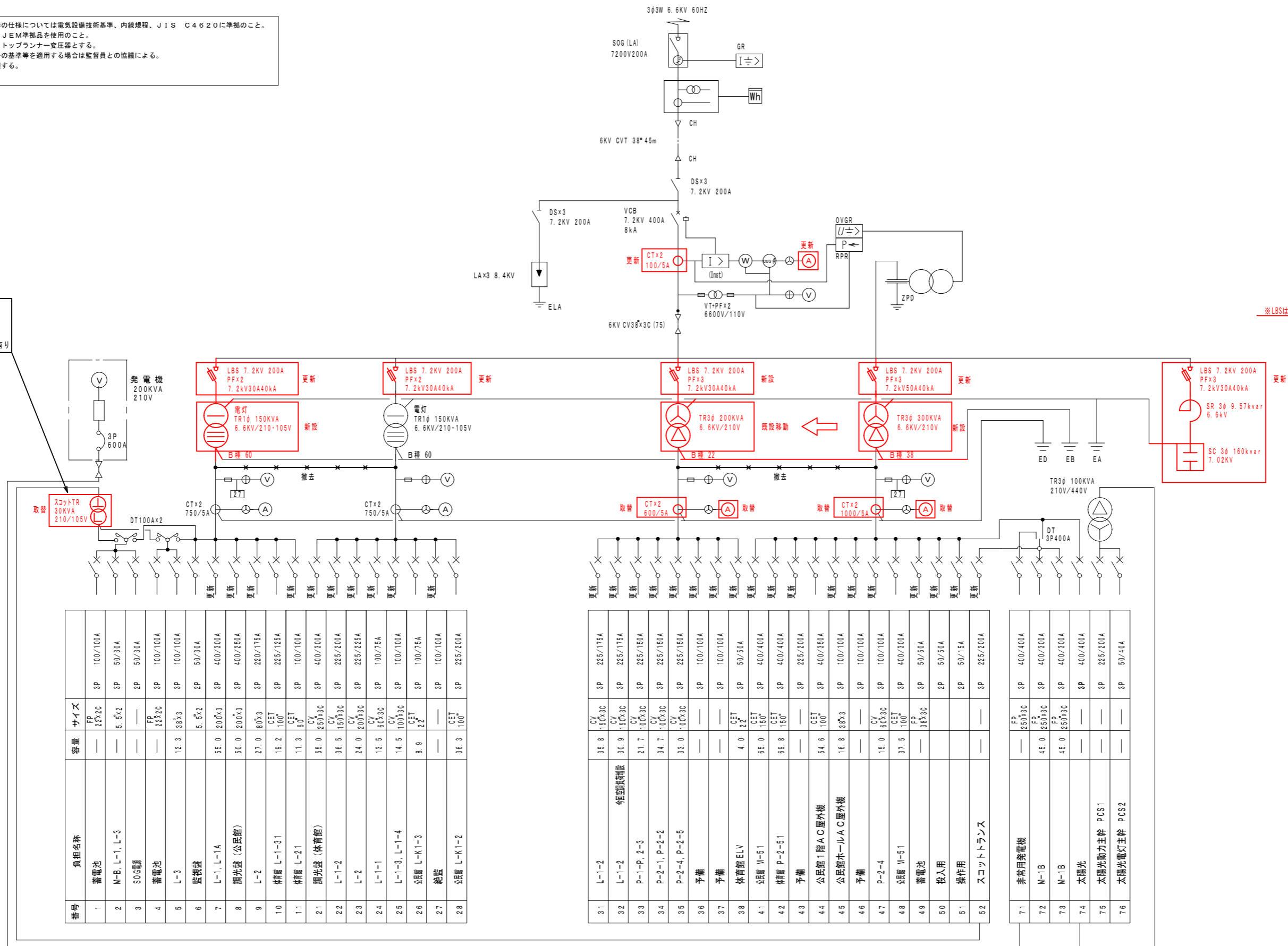
卓球室

テニスコート

<特記事項>

1. 高圧受変電設備機器の仕様については電気設備技術基準、内線規程、JIS C4620に準拠のこと。
2. 主要機器はJIS、JEM準拠品を使用のこと。
3. 変圧器は、2026トッランナー変圧器とする。
4. その他製造メーカーの基準等を適用する場合は監督員との協議による。
5. トランスは防振処理する。

既設スコット変圧器  
1979年製  
250kVA  
油量 67L  
微量PCB含有可能性有り



※LBSは励磁突入電流抑制装置付とする。

番号	負担名称	容量	サイズ
1	蓄電池	—	FP 22*2C 3P 100/100A
2	M-B, L-1, L-3	—	5.5*2 3P 50/30A
3	SOG機器	—	— 2P 50/30A
4	蓄電池	—	FP 22*2C 3P 100/100A
5	L-3	12.3	38*3 3P 100/100A
6	監視盤	—	5.5*2 2P 50/30A
7	L-1, L-1A	55.0	20*3 3P 400/300A
8	調光盤 (公民館)	50.0	20*3 3P 400/250A
9	L-2	27.0	80*3 3P 220/175A
10	情報館 L-1-3-1	19.2	100* 3P 225/125A
11	情報館 L-2-1	11.3	60* 3P 100/100A
21	調光盤 (体育館)	55.0	25*3C 3P 400/300A
22	L-1-2	36.5	150*3C 3P 225/200A
23	L-2	24.0	200*3C 3P 225/225A
24	L-1-1	13.5	60*3C 3P 100/75A
25	L-1-3, L-1-4	14.5	100*3C 3P 100/100A
26	公民館 L-K1-3	8.9	22* 3P 100/75A
27	総監	—	— 3P 100/100A
28	公民館 L-K1-2	36.3	100* 3P 225/200A

低圧電灯盤 No.1

低圧電灯盤 No.2

31	L-1-2	35.8	150*3C 3P 225/175A
32	L-1-2	30.9	150*3C 3P 225/175A
33	P-1-P, 2-3	21.7	100*3C 3P 225/150A
34	P-2-1, P-2-2	34.7	100*3C 3P 225/150A
35	P-2-4, P-2-5	33.0	100*3C 3P 225/150A
36	予備	—	— 3P 100/100A
37	予備	—	— 3P 100/100A
38	体育館ELV	4.0	22* 3P 50/50A
41	公民館 M-51	65.0	150* 3P 400/400A
42	情報館 P-2-5-1	69.8	150* 3P 400/400A
43	予備	—	— 3P 225/200A
44	公民館1階A区屋外機	54.6	100* 3P 400/350A
45	公民館ホールA区屋外機	16.8	38*3 3P 100/100A
46	予備	—	— 3P 100/100A
47	P-2-4	15.0	60*3C 3P 100/100A
48	公民館 M-51	37.5	100* CET 3P 400/300A
49	蓄電池	—	FP 38*3C 3P 50/50A
50	投入用	—	2P 50/50A
51	操作用	—	2P 50/15A
52	スコットトランス	—	— 3P 225/200A

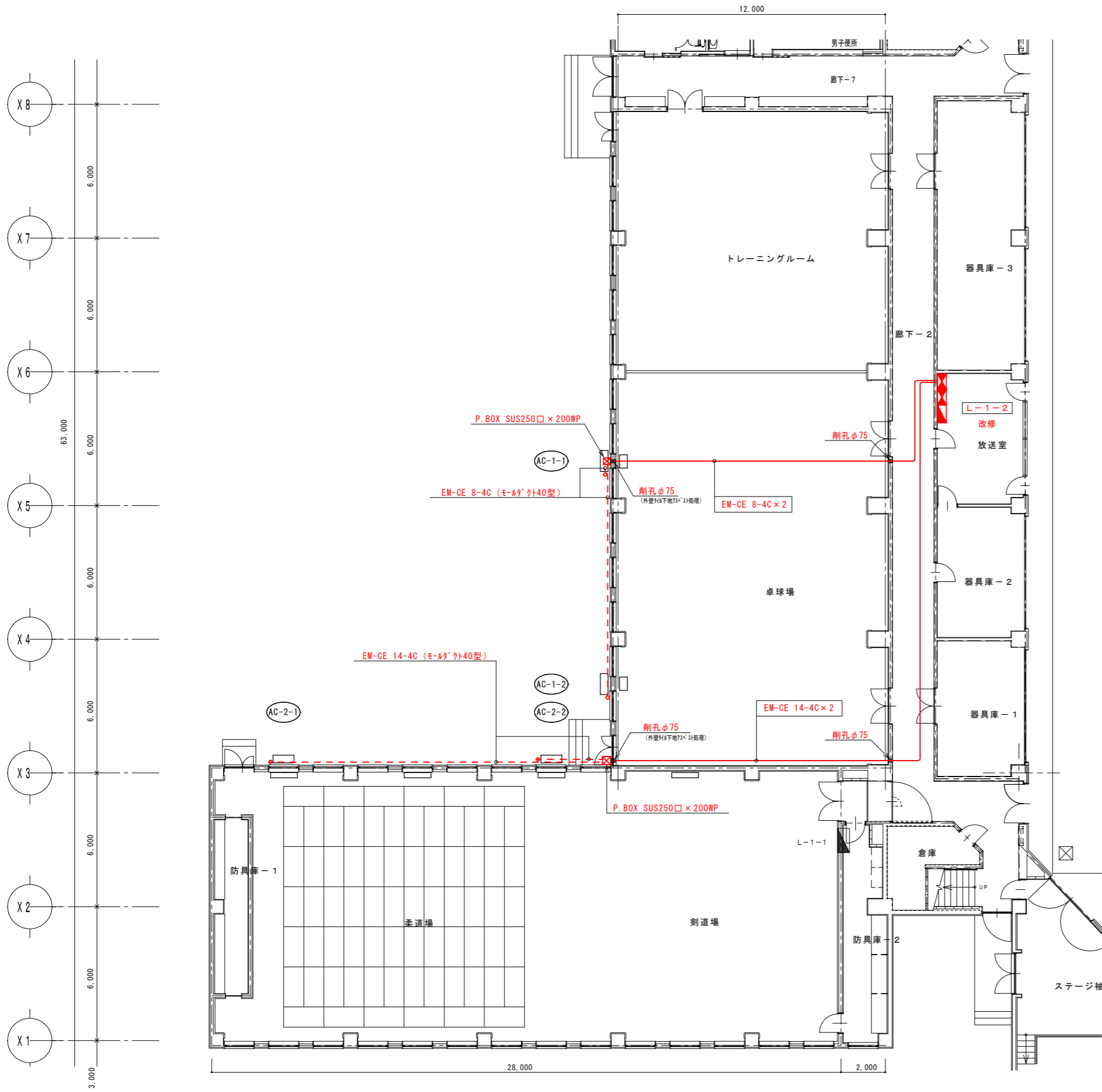
低圧動力盤 No.1

低圧動力盤 No.2

71	非常用発電機	—	FP 250*3C 3P 400/400A
72	M-1B	45.0	250*3C 3P 400/300A
73	M-1B	45.0	250*3C 3P 400/300A
74	太陽光	—	— 3P 400/400A
75	太陽光動力主幹 PCS1	—	— 3P 225/200A
76	太陽光電灯主幹 PCS2	—	— 3P 50/40A

低圧動力盤 No.3





1階平面図 S=1/100

動力盤結線図

盤名 幹線+分岐	電気方式 主幹	回路 番号	電圧 V	分岐 A/F/A/T	負荷名称	負荷 容量 VA	備考
既存 L-1-2 改造	MCCB3P 225AF/175AT	200	200	MCCB3P50AF/40AT	トレーニングルーム-LAC屋外機1	7,700	
		200	200	MCCB3P50AF/20AT	予備		
		200	200	MCCB3P50AF/40AT	トレーニングルーム-LAC屋外機2	7,700	
		200	200	MCCB3P50AF/20AT	予備		
		200	200	MCCB3P50AF/30AT	フレーム-LAC屋外機1	6,800	
		200	200	MCCB3P50AF/30AT	フレーム-LAC屋外機2	6,800	
		200	200	MCCB3P50AF/30AT	フレーム-LAC屋外機3	6,800	
		200	200	MCCB2P50AF/20AT	予備		
		200	200	MCCB3P50AF/20AT			
		200	200	MCCB3P50AF/20AT			
		200	200	MCCB3P50AF/20AT			
		200	200	MCCB3P50AF/20AT			
3φ200V CV150-3C	MCCB3P 225AF/175AT	Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/40AT	柔剣道場AC屋外機1	8,250	ブレーカ20A→40A に取替
		Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/40AT	柔剣道場AC屋外機2	8,250	ブレーカ20A→40A に取替
		Mg3P80A	200	MCCB3P50AF/20AT			
		Mg3P80A	200	MCCB3P50AF/20AT			
		Mg3P80A	200	MCCB3P50AF/30AT	卓球場AC屋外機1	7,200	ブレーカ20A→30A に取替
		Mg3P80A	200	MCCB3P50AF/30AT	卓球場AC屋外機2	7,200	ブレーカ20A→30A に取替
		Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/20AT			
		Mg3P50A	200	MCCB2P50AF/20AT			
		Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/20AT			
		Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/20AT			
		Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/20AT			
		Mg3P50A	200	MCCB3P50AF/20AT			
					30,900VA	増設	



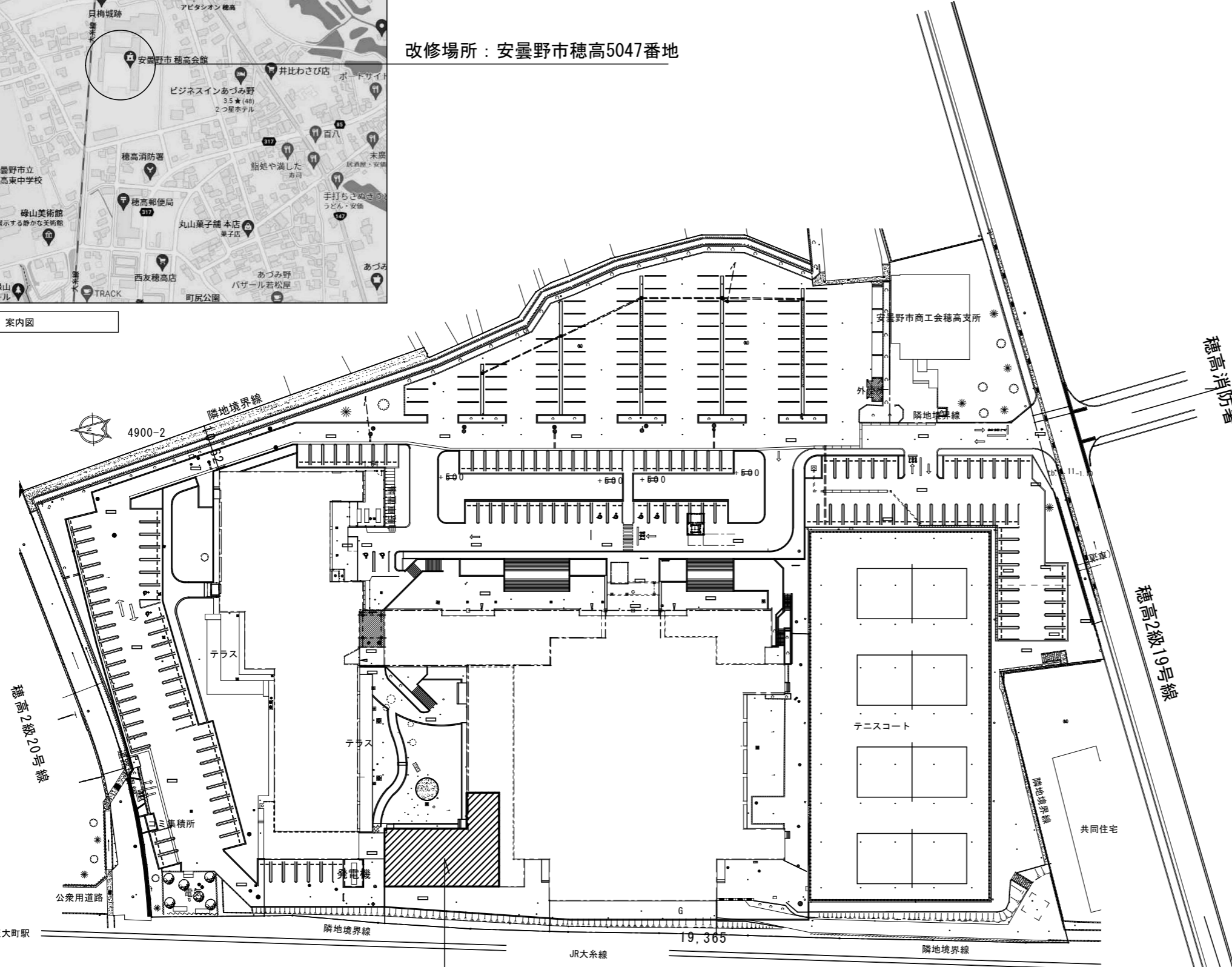




案内図

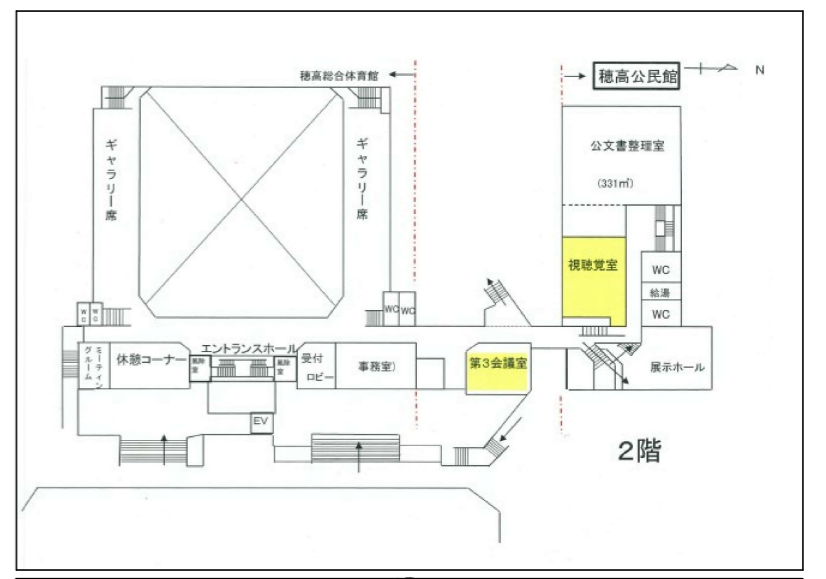
改修場所：安曇野市穂高5047番地

穂高2級22号線（旧国道147号線）

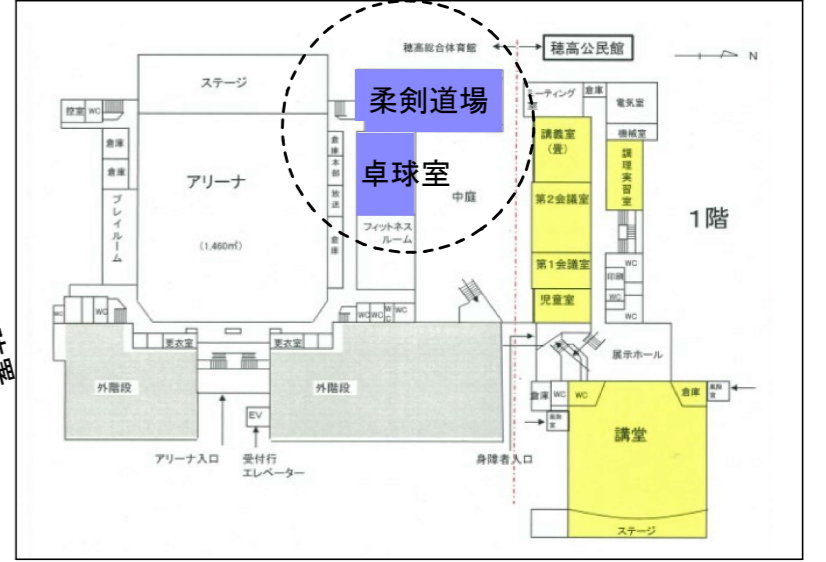


配置図 S:1/1000

改修場所：柔剣道場・卓球室



2階



1階

施設平面図

冷暖房機器表

記号	名称	設置場所	数量	品番仕様	電源			備考
		室名			相(φ)	電圧(V)	電力(kw)	
ACP-1	パッケージエアコン	1階卓球室	2セット	床置形 7(6馬力相当)	2	200	冷: 5.59	参考品番: 床置形パッケージエアコンSSRV160D ダイキンパッケージエアコン スカイF FIVE STAR ZEAS 参考品番: 木台 KKWJ9L160 参考品番: 基礎ブラケット架台K-KTZ15G 室外機防振架台K-KSVF15GY
				冷房能力: 14.0 (6.3~16.0) kw 暖房能力: 16.0 (7.2~20.0) kw			暖: 4.77	
				リモコン				
				インテリジェントタッチコントローラー DCL401B1対応				

記号	名称	設置場所	数量	品番仕様	電源			備考
		室名			相(φ)	電圧(V)	電力(kw)	
ACP-2	パッケージエアコン	1階柔剣道室	2セット	壁掛形 ツイン(8馬力相当)	2	200	冷: 7.28	参考品番: 壁掛形パッケージエアコンツインSSRA224DD ダイキンパッケージエアコン スカイF FIVE STAR ZEAS 参考品番: 基礎ブラケット架台K-KTZ15G 室外機防振架台K-KSVF15GY
				冷房能力: 20.0 (9.0~22.4) kw 暖房能力: 22.4 (10.1~28.0) kw			暖: 7.48	
				リモコン				
				インテリジェントタッチコントローラー DCL401B1対応				

空調設備機器表

記号	設置場所	名称/仕様	型式(セット型番)	数量	電源	定格電流
ACP-1	1階 卓球室	ダイキンパッケージエアコン スカイF FIVE STAR ZEAS 床置形 7(6馬力相当)	SSRV160D	2 set	3φ200	30A
ACP-2	1階 柔剣道室	ダイキンパッケージエアコン スカイF FIVE STAR ZEAS 壁掛形 ツイン(8馬力相当)	SSRA224DD	2 set	3φ200	40A

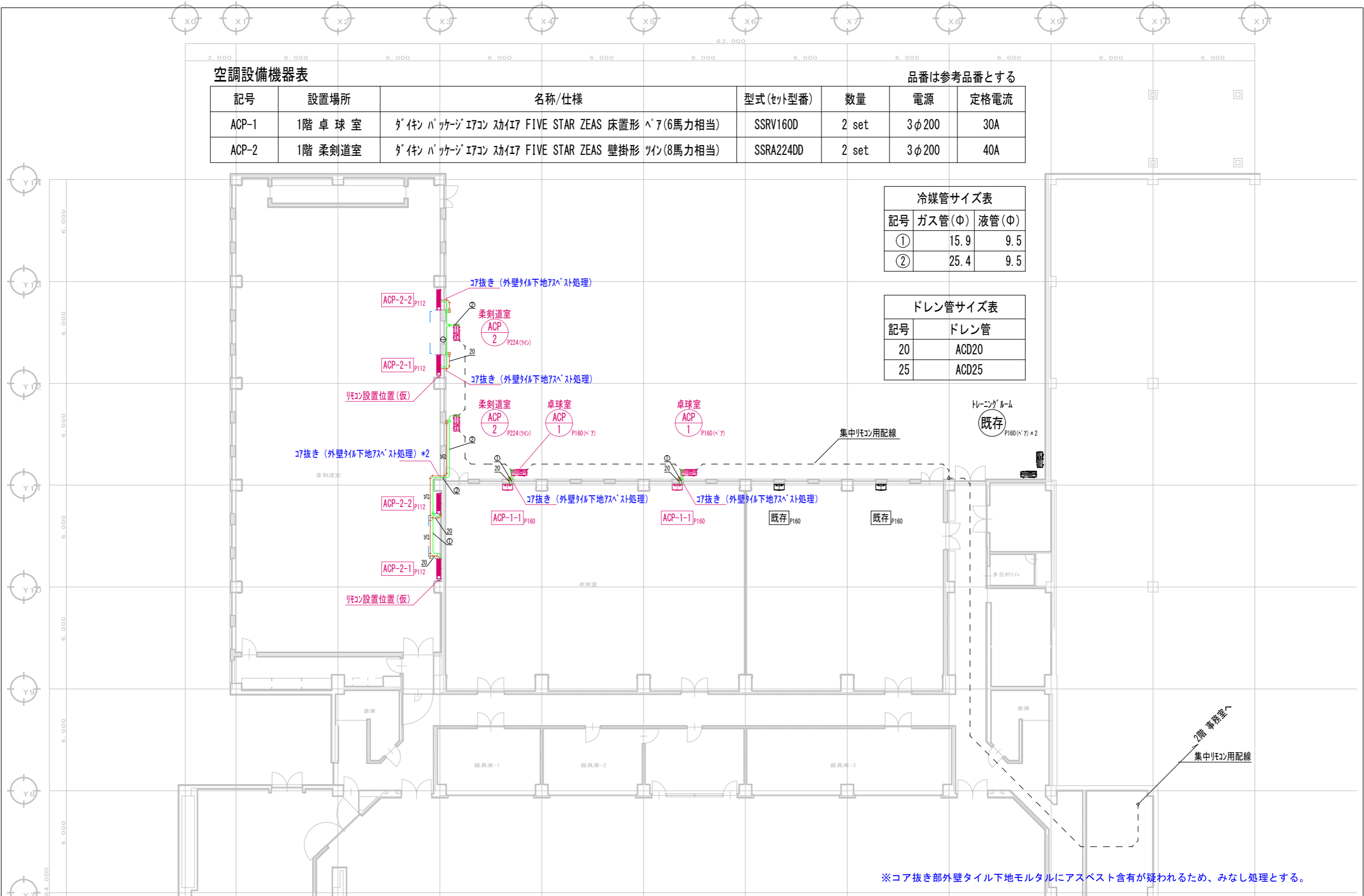
品番は参考品番とする

冷媒管サイズ表

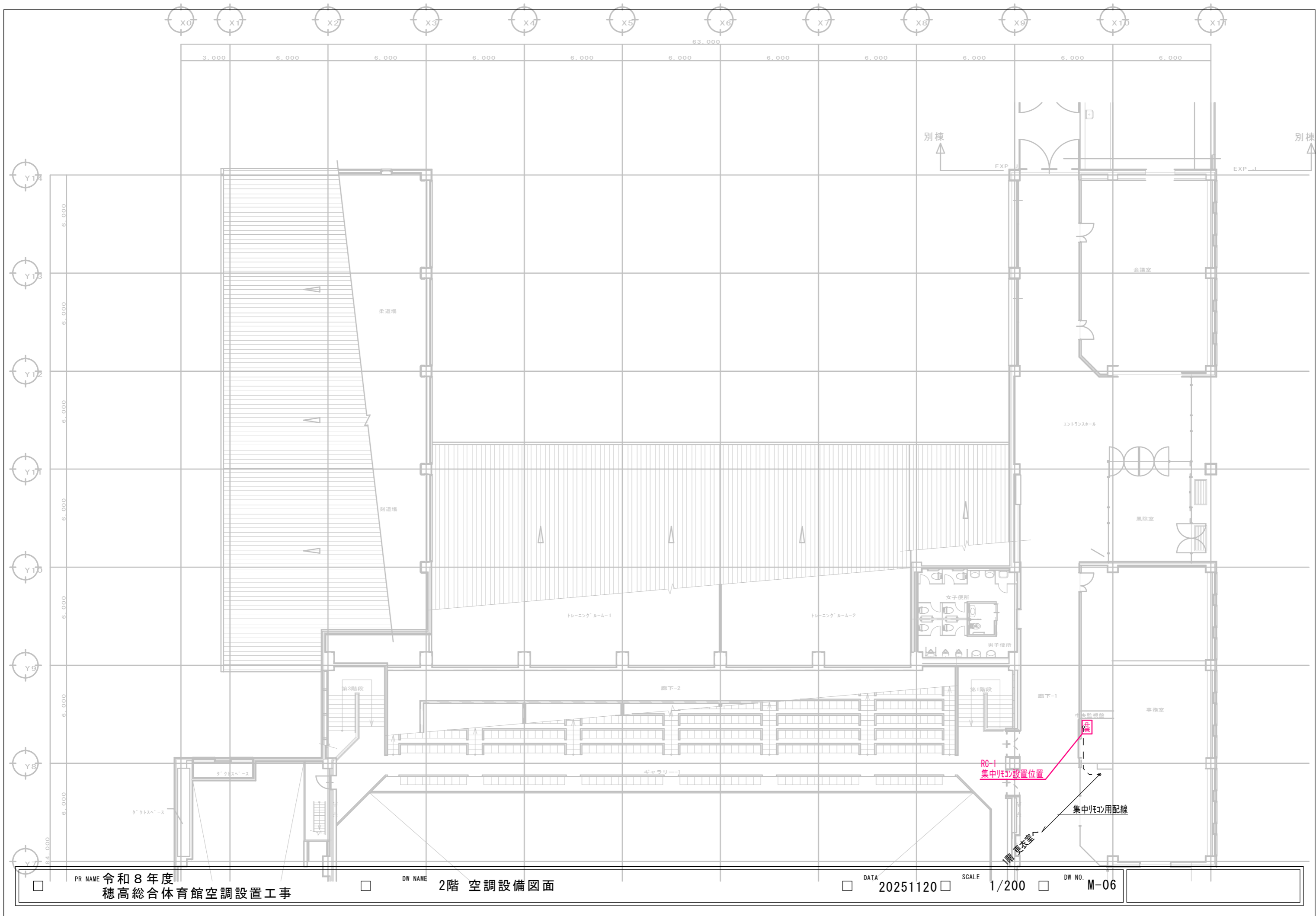
記号	ガス管(Φ)	液管(Φ)
①	15.9	9.5
②	25.4	9.5

ドレン管サイズ表

記号	ドレン管
20	ACD20
25	ACD25



※コア抜き部外壁タイル下地モルタルにアスベスト含有が疑われるため、みなし処理とする。



PR NAME 令和8年度  
穂高総合体育館空調設置工事

DW NAME 2階 空調設備図面

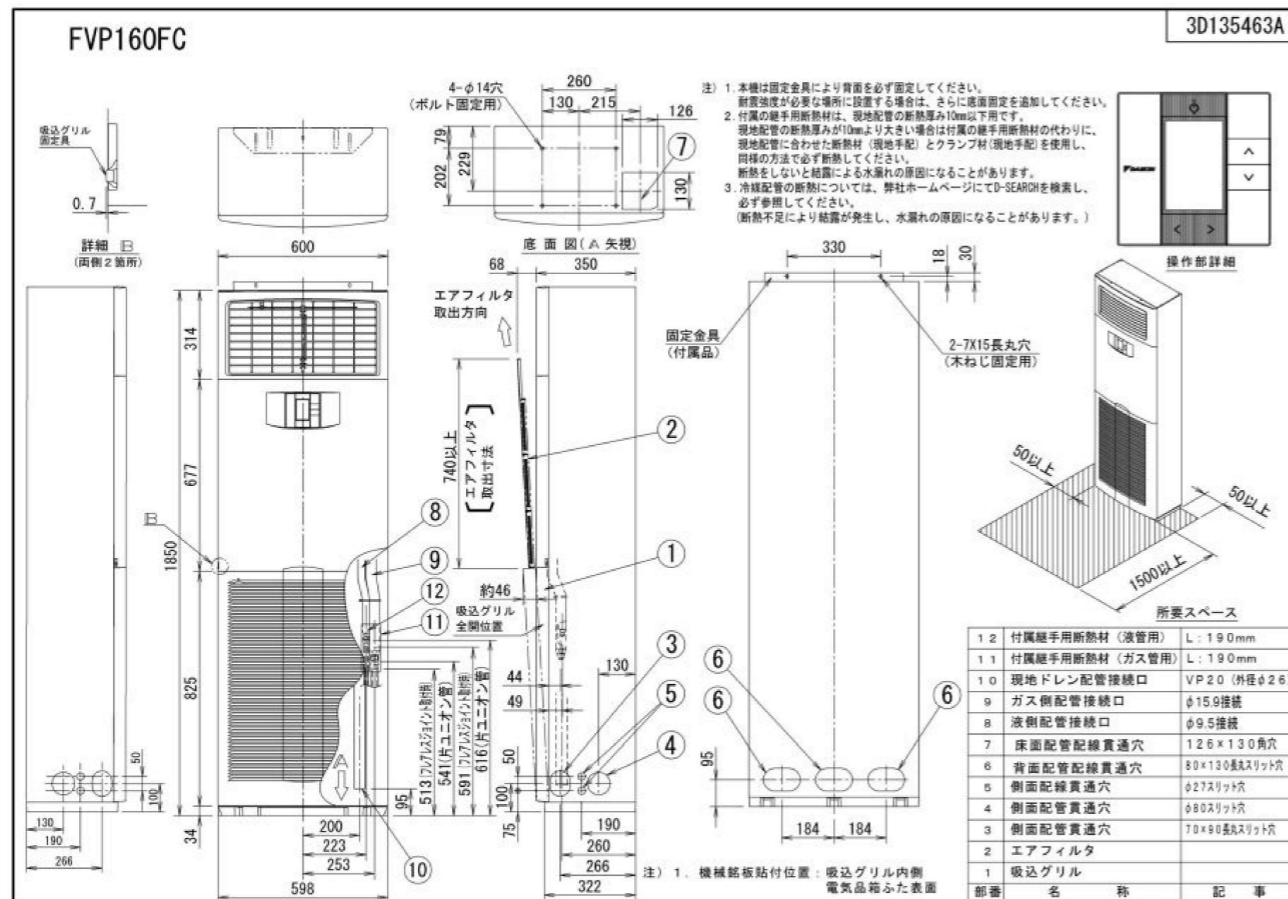
DATA 20251120

SCALE 1/200

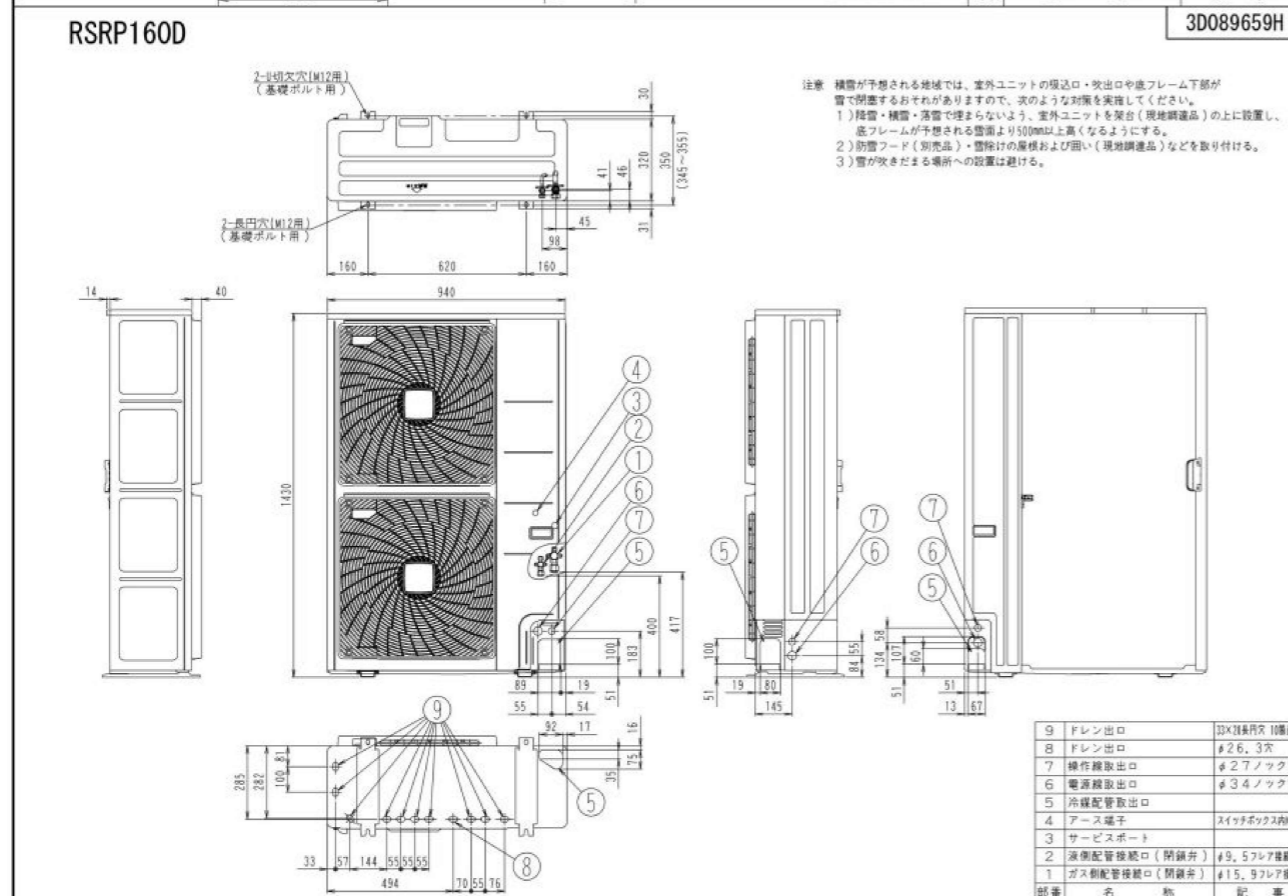
DW NO. M-06



# < 参考図 >



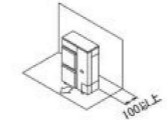
本機のリモコン外形図はありません。  
 ※室内機の外形図に記載されている場合もあります。



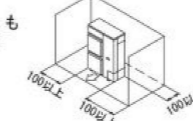
## 据付所要スペース (数値の単位はmm)

(A) 吸込側に障害物がある場合  
 ● 上方が開放の場合

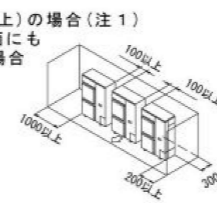
- ① 単独設置の場合
  - ・吸込側のみに障害物がある場合



- ・吸込側と両側面にも障害物がある場合



- ② 連続設置（2台以上）の場合（注1）
  - ・吸込側と両側面にも障害物がある場合



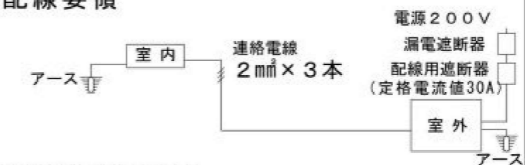
その他のパターンについては  
 技術ガイドを参照ください。

（注1）連続設置で側面取出しの場合には、配管スペースを設けてください。

項目	機種		
	FVP160FC	RSRP160D(E) (H)	
冷房能力 (kW)	定格 ★2.12	14.0 (6.3 ~ 16.0)	
暖房能力 (kW)	定格 ★3.12	16.0 (7.2 ~ 20.0)	
	最大低温 ★4	13.7	
電源	≡ 200V 50/60Hz		
電気特性 ★7	運転電流 (A)	冷房	14.3
		暖房標準	15.6
	消費電力 (kW)	冷房	4.68
		暖房標準	5.05
	力率 (%)	冷房	94.5
		暖房標準	93.4
始動電流 (A)	冷房	-----	
	暖房標準	-----	
エネルギー消費効率(COP)	冷暖平均	3.08	
通年エネルギー消費効率(APF) ★13		4.9	
通年エネルギー消費効率(APF2015) ★14		4.9	
定格冷房時の顕熱比(SHF) ★2		0.68	
設計圧力 ★15 (MPa)	H 3.60	L 2.26	
主電源配線太さ(こう長) ★11	mm(---m)	5.5mm (28m)	
圧縮機	形式	全密閉インダクション式	
	電動機出力 (kW)	2.83	
ファン	電動機出力 (W)	152×1	
	風量 (m³/min)	急: 30 / 106	
	機外静圧 (Pa)	-----	
冷媒	R32・充填量 (kg)	3.35 (配管 30m分封入済)	
	最大長さ (m)	75 (相当長90)	
冷媒配管	最大高低差 (m)	30	
	運転音 ★8 (dB) (音響パワーレベル)	冷房	急: 65 / 72
運転音 ★9 (dB) (音圧レベル)	暖房標準	急: 65 / 74	
	冷房	急: 53 / 51	
質量 (kg)	暖房標準	急: 53 / 54	
	本体 (パネル)	47 (-----) / 90	
IPコード	---	IPX4	
高圧ガス保安法に基づく手続き(冷凍トン)	不要 (2.64)		

注) 1. ★2 JIS B 8616 (2015) に準拠した値です。(室内側: 27°CDB, 19°CWB, 外気: 35°CDB, 24°CWB)、接続配管 7.5m、高さ 0m  
 2. ★3 JIS B 8616 (2015) に準拠した値です。(室内側: 20°CDB, 15°CWB, 外気: 7°CDB, 6°CWB)、接続配管 7.5m、高さ 0m  
 3. ★4 JIS B 8616 (2015) に準拠した値です。(室内側: 20°CDB, 15°CWB, 外気: 2°CDB, 1°CWB, 1時間積分)、接続配管 7.5m、高さ 0m  
 4. ★7 電気特性は JIS B 8616 (2015) に準拠した値です。  
 5. ★8 運転音 (音響パワーレベル) は JIS B 8616 (2015) に準拠した値です。  
 6. ★9 運転音 (音圧レベル) は JIS B 8616 (2006) 規格に準拠し、無音室換算した時の値です。実際に据付した状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。  
 7. ★9 室外ユニットは本体前方 1m、高さ 1.5m の位置における測定値を示します。  
 8. ★11 「電線太さ」欄の ( ) 内は電圧降下 2% 時の電線最大こう長を示します。  
 9. ★12 冷房・暖房能力は定格能力を示します。( ) 内数値は能力範囲を示します。  
 10. ★13 日本冷凍空調工業会標準規格 JRA4048 (2006) に定める条件 (地区: 東京、建物用途: 戸建て店舗)。  
 11. ★14 JIS B 8616 (2015) に定める条件 (地区: 東京、建物用途: 戸建て店舗)。  
 12. ★15 設計圧力の H は「高圧部」、L は「低圧部」を示します。  
 13. 機種名の末尾の (E) は JRA 耐塩害仕様機、(H) は JRA 重塩害仕様機を表します。

## 機外配線要領



※電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。  
 漏電遮断器は、インバーター対応（高感度対応）品を選定してください。  
 ※工事の際は据付説明書または技術ガイドを参照ください。

< 冷暖房兼用床置形 (スカイエア) >  
 < インバータータイプ >

SSRV160D

仕様・外形図

**ダイキン工業株式会社**

3JHK40203

図番

# < 参考図 >

総称機種名		SSRV160D		標準付属品		室内		室外		
室内機・室外機機種名 ★1		FVP160FC	RSRP160D	[RSRP160DE, RSRP160DH]		保証書		○		
定格冷房標準能力 ★2 ★12		kW	14.0(6.3~16.0)	取扱説明書		○		○		
中間冷房標準能力 ★2		kW	6.3	据付説明書		○		○		
定格暖房標準能力 ★3 ★12		kW	16.0(7.2~20.0)	据付用金具・据付用型紙		○		○		
中間暖房標準能力 ★3		kW	7.2	経手用断熱材		○		○		
中間冷房中温能力 ★5		kW	6.5	ネジ		○		○		
最小冷房中温能力 ★5		kW	---	貫通部保護材		○		○		
最小暖房標準能力 ★3		kW	---	コンパネ用当板		○		○		
最大暖房低温能力 ★4		kW	13.7	フレアレスジョイント		○		○		
電源		三相 200V 50/60Hz		クランプ類		○		○		
電圧		三相 200V 50/60Hz		クランプ材		○		○		
電気特性 ★7	運転電流	冷房	A	14.3	1. /で示された数値は正が50Hz、右が60Hzです。その他は50Hz、60Hz共通です。 2. ★1 [ ]内の末尾(E)は耐塩害仕様 末尾(O)は耐塩害仕様機を示します。仕様は日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002に基づいています。 3. ★2 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:27°CDB, 19°CWB, 外気:35°CDB, 24°CWB), 接続配管7.5m, 高さ0m 4. ★3 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:20°CDB, 15°CWB, 外気:27°CDB, 6°CWB), 接続配管7.5m, 高さ0m 5. ★4 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:20°CDB, 15°CWB, 外気:27°CDB, 1°CWB, 1時間積算), 接続配管7.5m, 高さ0m 6. ★5 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:27°CDB, 19°CWB, 外気:29°CDB, 19°CWB), 接続配管7.5m, 高さ0m 7. ★7 電気特性はJIS B 8616(2015)に準拠した値です。 8. ★8 運転音(音響パワーレベル)はJIS B 8616(2015)に準拠した値です。 9. ★9 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616(2006)規格に準拠し、無音室換算した時の値です。実際に据付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。 10. ★9 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1.5mの位置における測定値を示します。 11. ★10 液管, ガス管共, 断熱工事が必須です。ドレン配管接続口は付属ホースの口径を示しています。 12. ★11 配線要領は内線規程(JEAC8001(最新))によります。 13. ★11 電源配線は、Wケーブル3心以下(電線管不使用)の場合を示します。並びに、金属管配線および合成樹脂管配線については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。 14. ★11 「電線太さ」欄の( )内は電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。 15. ★11 必ず漏電遮断器を施設してください。漏電遮断器で地絡保護専用のものは、必ずB種ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合せて使用してください。短絡地絡保護兼用のものは定格電流とアース線については、配線用遮断器と同じ仕様のもを使用してください。 16. ★11 配線用遮断器の定格遮断容量は、現地設備、工事設備、工事内容より各々異なりますので、遮断器取付箇所における短絡電流を計算(推定)し充分耐えるだけの遮断容量を有する適当な遮断器を選定してください。 17. ★11 更新時にB種ヒューズを継続使用する場合は、経時劣化しているおそれがあるため、新品に交換してください。また、安全上の観点から、B種ヒューズと併せて漏電遮断器の設置が必要のため、それらの機能が一体となった器具への更新を推奨します。 18. ★12 冷房、暖房能力は定格能力を示します。( )内数値は能力範囲を示します。 19. ★13 日本冷凍空調工業会標準規格JRA4048(2006)に定める条件(地区:東京、建物用途:戸建て店舗) 20. ★14 JIS B 8616(2015)に定める条件(地区:東京、建物用途:戸建て店舗) 21. ★15 設計圧力のHは「高圧部」、Lは「低圧部」を示します。					
		消費電力	冷房	kW						4.68
			中間冷房	kW						1.09
	暖房		kW	5.05						
	消費電力	中間暖房	kW	1.29						
		中間冷房中温	kW	1.02						
		最小冷房中温	kW	---						
	消費電力	最小暖房標準	kW	---						
		最大暖房低温	kW	7.20						
		消費電力	冷房	kW						4.40
	室外機単体	暖房	kW	4.77						
		力率	冷房	%						94.5
	力率	暖房	%	93.4						
		始動電流	冷房	A						---
	始動電流	暖房	A	---						
年間EER消費効率(COP)		冷暖平均	3.08							
年間EER消費効率(APF)	★13	4.9								
年間EER消費効率(APF2015)	★14	4.9								
定格冷房時の顕熱比(SHF)	★2	0.68								
外装 ★1	フレッシュホワイト	アイボリー								
	6.5Y9.5/0.5	5Y7.5/1								
		[ライトキャメル]								
外形寸法	高さ	mm	1850							
	幅	mm	600							
	奥行	mm	350							
圧縮機	形式	全密閉スイング式								
	電動機出力	kW	2.83							
ファン	形式	シロッコファン	プロペラファン							
	電動機出力×台数	W	[152×1]							
風量	急	m³/min	30							
	強	m³/min	28							
機外静圧	急	Pa	---							
	強	Pa	---							
運転音(音響パワーレベル) ★8	急	dB	65	冷 72 暖 74						
	強	dB	63	---						
運転音(音圧レベル) ★9	急	dB	61	---						
	強	dB	53	冷 51 暖 54						
エアフィルタ	急	dB	51	---						
	強	dB	49	---						
質量	kg	47	90							
冷媒配管	標準長さ	m	7.5							
	最大	m	75(相当長90)							
冷媒	名称	R32								
	充填量	kg	3.35(配管30m分封入済)							
接続配管	液側配管(C1220T)	mm	φ9.5 フレア	φ9.5 フレア						
	ガス側配管(C1220T)	mm	φ15.9 フレア	φ15.9 フレア						
容量制御	容量制御	%	圧縮機回転数制御(インバータ方式)							
	法定冷凍トン	2.64								
設計圧力 ★15	MPa	H 3.60, L 2.26								
IPコード	IPX4									
機外配線 ★11	最小電線太さ(こう長)	mm²	---	5.5(28m)						
	漏電遮断器	---	---	30A, 30mA						
	配線用遮断器	A	---	30						
		7-ス線	mm²以上	2	2					
	手元開閉器	7-ス線	mm²以上	2	2					
7-ス線		mm²以上	2	2						
連絡配線本数	mm²	2×3本								
	室外~室内	m	80							
こう長	室内縦壁~子機	m	---							
	室内子機~子機	m	---							

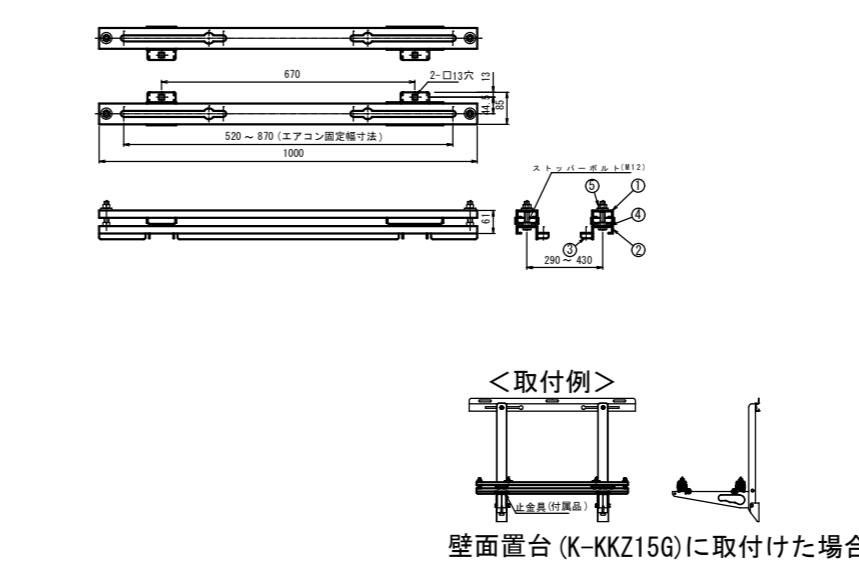
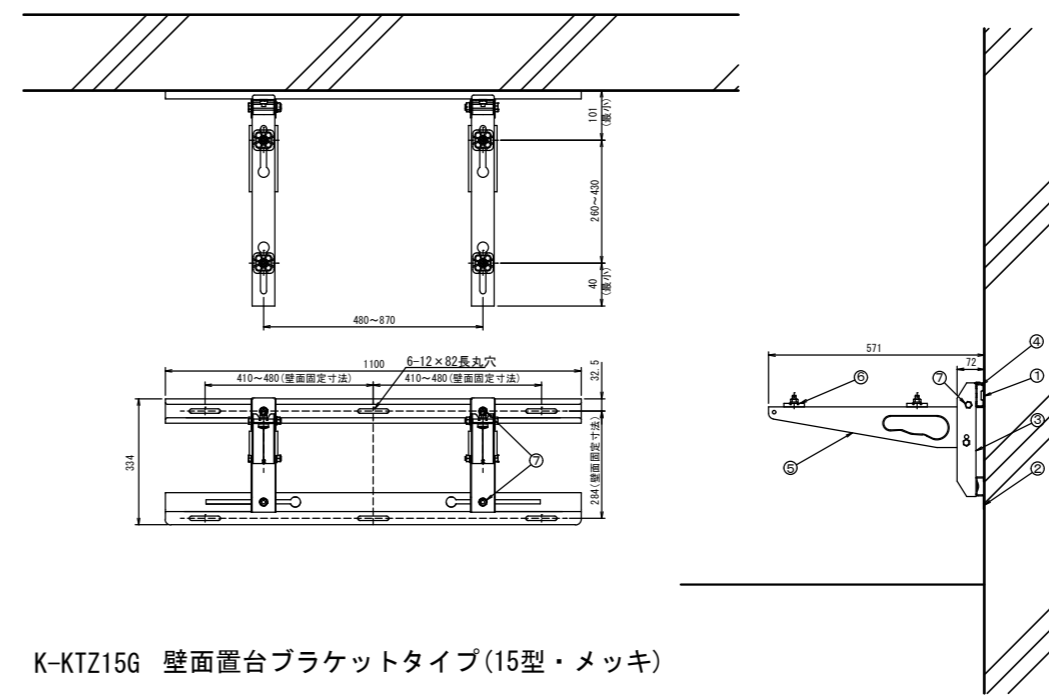
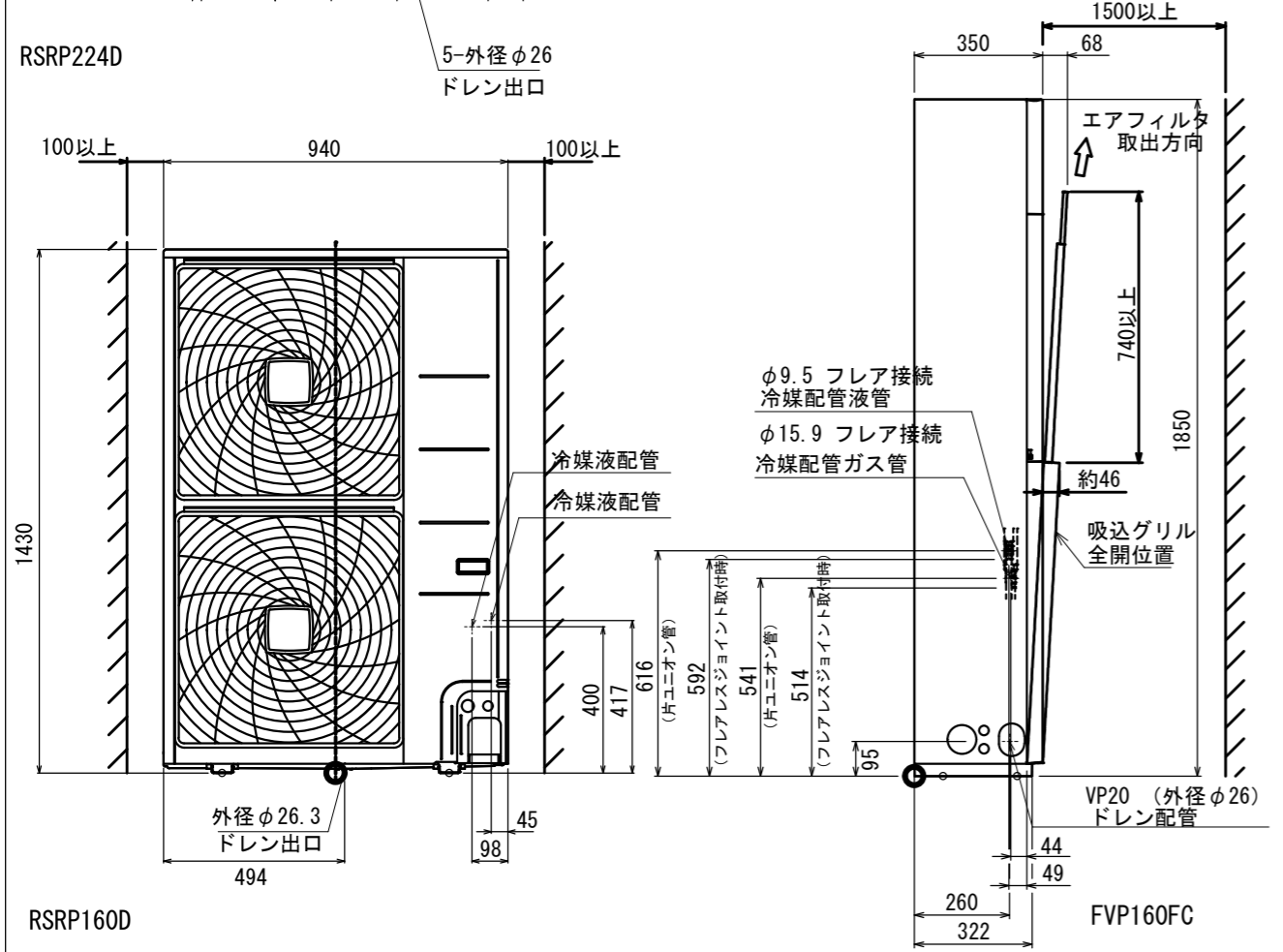
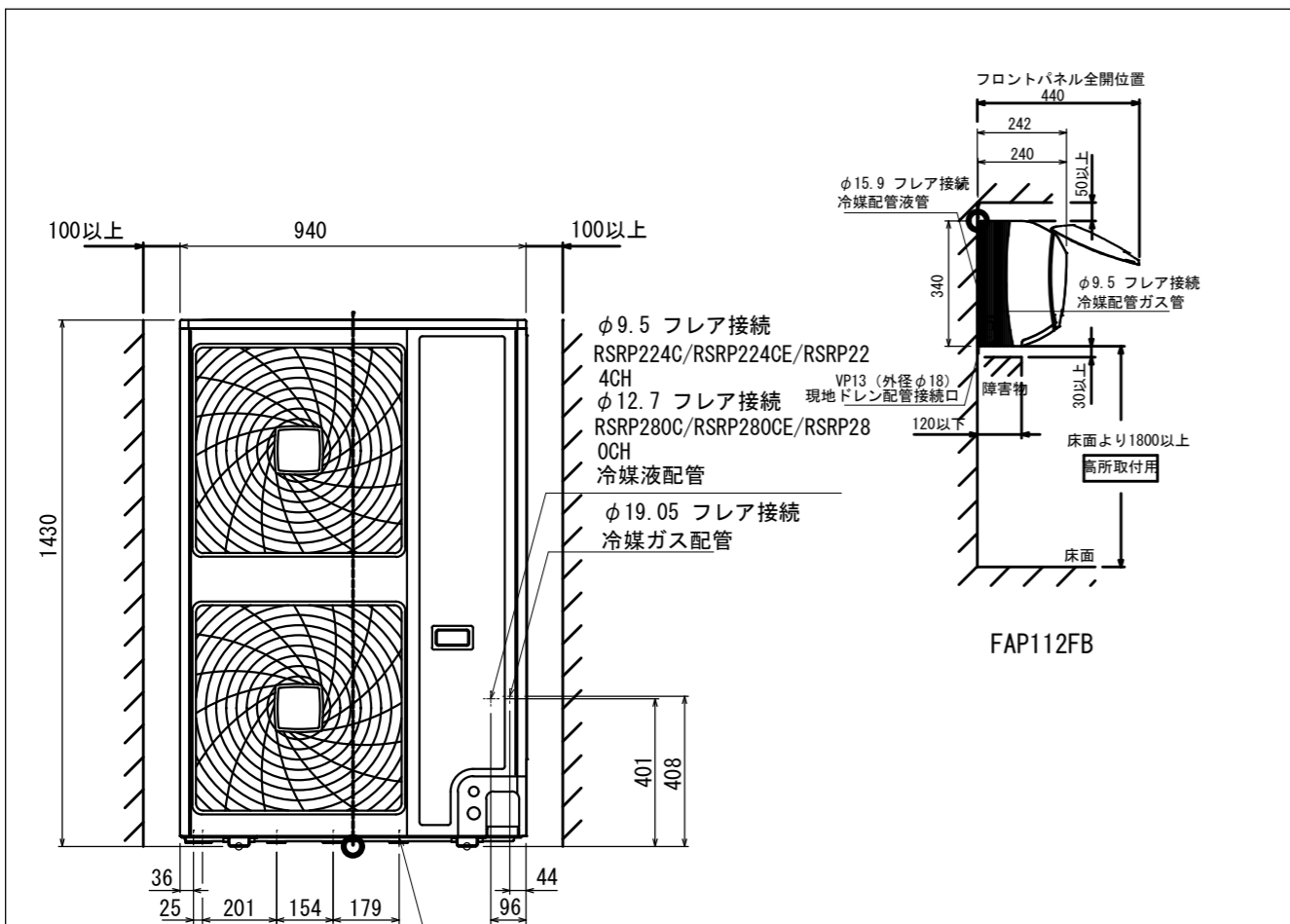
スカイエア  
壁掛形 [グリーン購入法適合]  
**SSRV160D**  
仕様一覧表

受注番号: **ダイキン工業株式会社** 元図番: **JA16162576**

総称機種名		SSRA224DD		リモコン(別売)		機種名		BRC164		
室内機・室外機機種名 ★1		FAP112FB	RSRP224D	[RSRP224DE, RSRP224DH]		タイプ		ワイヤード		
定格冷房標準能力 ★2 ★12		kW	20.0(9.0~22.4)	標準付属品		室内		室外		
中間冷房標準能力 ★2		kW	9.0	保証書		○		○		
定格暖房標準能力 ★3 ★12		kW	22.4(10.1~28.0)	取扱説明書		○		○		
中間暖房標準能力 ★3		kW	10.1	据付説明書		○		○		
中間冷房中温能力 ★5		kW	9.4	据付板		○		○		
最小冷房中温能力 ★5		kW	---	断熱テープ・シール材		○		○		
最小暖房標準能力 ★3		kW	---	ネジ		○		○		
最大暖房低温能力 ★4		kW	18.5	クランプ類		○		○		
電源		三相 200V 50/60Hz		フレアレスジョイント		○		○		
電圧		三相 200V 50/60Hz		クランプ材		○		○		
電気特性 ★7	運転電流	冷房	A	22.4	1. /で示された数値は正が50Hz、右が60Hzです。その他は50Hz、60Hz共通です。 2. ★1 [ ]内の末尾(E)は耐塩害仕様 末尾(O)は耐塩害仕様機を示します。仕様は日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002に基づいています。 3. ★2 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:27°CDB, 19°CWB, 外気:35°CDB, 24°CWB), 接続配管7.5m, 高さ0m 4. ★3 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:20°CDB, 15°CWB, 外気:27°CDB, 6°CWB), 接続配管7.5m, 高さ0m 5. ★4 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:20°CDB, 15°CWB, 外気:27°CDB, 1°CWB, 1時間積算), 接続配管7.5m, 高さ0m 6. ★5 JIS B 8616(2015)に準拠した値です。(室内側:27°CDB, 19°CWB, 外気:29°CDB, 19°CWB), 接続配管7.5m, 高さ0m 7. ★7 電気特性はJIS B 8616(2015)に準拠した値です。 8. ★8 運転音(音響パワーレベル)はJIS B 8616(2015)に準拠した値です。 9. ★9 運転音(音圧レベル)はJIS B 8616(2006)規格に準拠し、無音室換算した時の値です。実際に据付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。 10. ★9 室外ユニットは本体前方1m, 高さ1.5mの位置における測定値を示します。 11. ★10 液管, ガス管共, 断熱工事が必須です。ドレン配管接続口は付属ホースの口径を示しています。 12. ★11 配線要領は内線規程(JEAC8001(最新))によります。 13. ★11 電源配線は、Wケーブル3心以下(電線管不使用)の場合を示します。並びに、金属管配線および合成樹脂管配線については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。 14. ★11 「電線太さ」欄の( )内は電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。 15. ★11 必ず漏電遮断器を施設してください。漏電遮断器で地絡保護専用のものは、必ずB種ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合せて使用してください。短絡地絡保護兼用のものは定格電流とアース線については、配線用遮断器と同じ仕様のもを使用してください。 16. ★11 配線用遮断器の定格遮断容量は、現地設備、工事設備、工事内容より各々異なりますので、遮断器取付箇所における短絡電流を計算(推定)し充分耐えるだけの遮断容量を有する適当な遮断器を選定してください。 17. ★11 更新時にB種ヒューズを継続使用する場合は、経時劣化しているおそれがあるため、新品に交換してください。また、安全上の観点から、B種ヒューズと併せて漏電遮断器の設置が必要のため、それらの機能が一体となった器具への更新を推奨します。 18. ★12 冷房、暖房能力は定格能力を示します。( )内数値は能力範囲を示します。 19. ★13 日本冷凍空調工業会標準規格JRA4048(2006)に定める条件(地区:東京、建物用途:戸建て店舗) 20. ★14 JIS B 8616(2015)に定める条件(地区:東京、建物用途:戸建て店舗) 21. ★15 設計圧力のHは「高圧部」、Lは「低圧部」を示します。					
		消費電力	冷房	kW						7.40
			中間冷房	kW						1.69
	暖房		kW	7.60						
	消費電力	中間暖房	kW	1.83						
		中間冷房中温	kW	1.54						
		最小冷房中温	kW	---						
	消費電力	最小暖房標準	kW	---						
		最大暖房低温	kW	8.25						
		消費電力	冷房	kW						7.28
	室外機単体	暖房	kW	7.48						
		力率	冷房	%						95.4
	力率	暖房	%	94.6						
		始動電流	冷房	A						---
	始動電流	暖房	A	---						
年間EER消費効率(COP)		冷暖平均	2.83							
年間EER消費効率(APF)	★13	4.7								
年間EER消費効率(APF2015)	★14	4.8								
定格冷房時の顕熱比(SHF)	★2	0.70								
外装 ★1	フレッシュホワイト	アイボリー								
	6.5Y9.5/0.5	5Y7.5/1								
		[ライトキャメル]								
外形寸法	高さ	mm	340	1430						
	幅	mm	1200	940						
	奥行	mm	240	320						
圧縮機	形式	全密閉スイング式								
	電動機出力	kW	4.52							
ファン	形式	クロスフローファン	プロペラファン							
	電動機出力×台数	W	63×1	[227×227]×1						
風量	急	m³/min	26	163						
	強	m³/min	23	---						
機外静圧	急	Pa	---	---						
	強	Pa	---	---						
運転音(音響パワーレベル) ★8	急	dB	66	83						
	強	dB	64	---						
運転音(音圧レベル) ★9	急	dB	60	---						
	強	dB	48	62						
エアフィルタ	急	dB	46	---						
	強	dB	42	---						
質量	kg	17	123							
冷媒配管	標準長さ	m	7.5							
	最大	m	100(相当長125)							
冷媒	名称	R32								
	充填量 ★16	kg	5.0(配管30m分封入済)							
接続配管	液側配管(C1220T)	mm	φ9.5 フレア	φ9.5 フレア						
	ガス側配管(C1220T)	mm	φ15.9 フレア	φ15.9 フレア						
容量制御	容量制御	%	圧縮機回転数制御(インバータ方式)							
	法定冷凍トン	3.58								
設計圧力 ★15	MPa	H 4.17, L 2.26								
IPコード	IPX4									
機外配線 ★11	最小電線太さ(こう長)	mm²	---	8(31m)						
	漏電遮断器	---	---	40A, 30mA						
	配線用遮断器	A	---	40						
		7-ス線	mm²以上	2	3.5					
	手元開閉器	7-ス線	mm²以上	2	2					
7-ス線		mm²以上	2	2						
連絡配線本数	mm²	2×3本								
	室外~室内	m	105							
こう長	室内縦壁~子機	m	100							
	室内子機~子機	m	---							

スカイエア  
壁掛形 [グリーン購入法適合]  
**SSRA224DD**  
仕様一覧表

受注番号: **ダイキン工業株式会社** 元図番: **JA16102101**



- 付属品
  - 六角ボルト(M10): 4本
  - 止金具 : 4個
  - 据付説明書
- 最大積載質量: 150kg
- 製品質量: 9.9kg
- 材質、表面処理

名称	板厚	材質・表面処理
① ステー上部	t2.3	材質: SPHC
② ステー下部	t2.3	表面処理: 溶融亜鉛メッキ (HDZ40)
③ 回転止金具	t2.0	材質: SPHC、表面処理: 溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
④ 防振材	-	材質: 耐候性合成ゴム+硬鋼線 (スプリング)
⑤ ボルト類	-	材質: SWRM、表面処理: 溶融亜鉛メッキ (HDZ35)

室外機ブラケット仕様図 S:1/20